

平成29年度 施策評価シート（平成28年度実績評価）

政策 04 快適に暮らせるまち
施策 03 道路網・公共交通体系の整備
主管課： 建設課
関係課： 企画課、都市計画課

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか） 市民	意図（どのような状態にしたいのか） 市民が安全で快適に移動できるまちをつくる。
------------------------	--

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

市内の道路は安全に通行できると感じている市民の割合						(%)	建設課
基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)		
71.70	72.80	74.40	74.50	74.60	75.00		
向上指針	上がると良い	(状況) 平成28年度の市内の道路は安全に通行できると感じている市民の割合は、74.4%で昨年度と比較し、1.6ポイント増加しています。 (原因) 平成27年度に都市計画道路坂町清水線の一部供用開始により、国道294号から主要地方道県道野田牛久線までの区間が開通したことや、毎年、竜ヶ崎工事事務所を含めた通学路安全点検や取手警察と連携して、危険箇所を把握し安全対策を進めていることが考えられます。					
対前年度	向上						
目標達成度	高						
次年度課題	課題としない						

公共交通に対する市民の満足度						(%)	企画課
基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)		
48.60	45.70	46.50	48.60	50.70	57.00		
向上指針	上がると良い	(状況) 平成27年度と比較すると、0.8ポイント向上しています。 (原因) わずかではあるものの、バス・鉄道ともに満足度が向上したことが、成果の向上につながりました。更に満足度を上げるために、市民ニーズを満たせるような公共交通網の再編やサービスの向上、つくばエクスプレスの早期東京駅延伸が求められています。					
対前年度	横ばい						
目標達成度	低						
次年度課題	課題とする						

基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	H26年度 決 算	H27年度 決 算	H28年度 決 算	H29年度 予 算	H30年度 見 込
事業費合計	610,432	628,659	579,610	1,074,638	1,010,503
人件費	0	0	50,587	0	0
トータルコスト	610,432	628,659	630,197	1,074,638	1,010,503

4 基本事業の状況

基本事業名称	成果指標の動向					事業費				
						H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
01 未改良道路の整備	向上	向上				148,760	209,180	121,992	179,855	179,855
02 道路の適切な維持管理	向上	向上				262,764	200,365	201,768	289,244	315,240
03 都市計画道路の整備	横ば	横ば				105,000	120,942	127,509	505,709	417,283
04 公共交通網の充実	低下	低下	横ば	横ば		89,796	92,575	123,857	93,875	92,170
99 施策の総合推進						4,112	5,597	4,484	5,955	5,955

5 施策全体の取組状況と課題

当該年度の全庁決定の方向性（前年度の全庁政策会議での決定事項）

計画的な都市計画道路の整備と橋梁修繕を含めた道路の適切な維持管理を進めていくとともに、県事業の供平板戸井線及び都市軸道路の早期整備を引き続き要望していきます。 バス交通については、市民ニーズに合ったルート等を検討し、利便性の向上に取り組んでいきます。 つくばエクスプレスの東京駅延伸や8両編成への増両を引き続き国や鉄道会社等へ働き掛け、早期実現に努めていきます。	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

都市計画道路坂町清水線、みずき野大日線は、国庫補助金の採択率が低いことから、土地開発公社の活用により用地取得を行っていますが、さらに事業を推進し早期開通を図る必要があります。 つくばエクスプレスの東京駅延伸や8両編成への増両を引き続き国や鉄道会社等へ働きかけ、早期実現を図る必要があります。 バス交通については、昨年、バスロケーションシステムを導入しましたが、今後も市民ニーズに合ったルート等を検討し、利便性の向上を図る必要があります。	推進状況	一部停滞あり
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	削減

次年度の方向性（当該年度の全庁政策会議での決定事項）

都市計画道路については、補助金を活用し、計画的な用地の取得及び整備を行っていきます。 バス交通については、公共交通網再編計画に基づき、デマンドタクシー等の新たな交通手段等を検討し、更なる利便性の向上に取り組んでいきます。 つくばエクスプレスの東京駅延伸、8両編成への増両、通学定期券の割引率の拡大を引き続き国や鉄道会社等へ積極的に働き掛けていきます。	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加